



平成 17 年 11 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ドワンゴ
代表者名 代表取締役社長 小林 宏
(コード番号：3715 東証第一部)
問合せ先 執行役員経営企画室長 松本 康一郎
(TEL . 03-3664-5477)

株式会社スパイクの株式取得（子会社化）のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、ゲームソフトウェアの企画・制作・販売を行う株式会社スパイク（本社：東京都渋谷区、代表取締役：沢田喜代則、櫻井光俊、以下「スパイク」という）の株式を取得し、子会社化することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

当社は、創業来ネットワークゲームを中心とするネットワークエンタテインメント（インターネット接続、通信回線、携帯電話をはじめとした「ネットワーク」を介しての娯楽を創出すること）を対象にしたコンテンツの提供及びそれぞれのコンテンツ配信に必要とされる要素を実現させるシステムの企画、開発、運用、サポート、コンサルティング等を行っております。最近では他社からの受託開発中心のビジネスモデルから、大手ゲームメーカーと費用および役割分担に応じて収益を配分する共同開発型ビジネスによるネットワークゲームの開発に取り組んでおります。

この度、子会社化するスパイクは、「爆走デコトラ伝説」シリーズ、「WRC」シリーズ、「キングオブコロシウム」シリーズや「侍道」シリーズなど数々のヒット作品を開発・販売した実績を持ちます。最近では、「喧嘩番長」や「研修医 天堂独太」など新しいタイプのゲームの開発にも挑戦、リアルからバーチャルまで様々なメディアの中からユーザに最適な形でコンテンツを提供する「テーマ開発型コンテンツプロバイダー」として事業展開を拡大しております。

同社を当社グループの一員として迎えることにより、当社の強みであるシステム構築・運用ノウハウと同社の強みであるゲームソフト開発ノウハウを相互に活用し、ネットワークゲームの開発、携帯電話向けコンテンツの一層の強化を行ってまいります。

また、スパイクは、現在当社の連結子会社である株式会社チュンソフト（以下「チュンソフト」という）とともに、株式移転の方式により、当社グループにおける中間共同持株会社の設立を目指します。同社は、当社グループ内におけるゲーム事業統括機構と位置付けられ、戦略の企画、立案ならびに強化を目指してまいります。

今後、プラットフォームの高機能化をはじめ、IT や通信環境の急速な発展・普及を背景にユーザのニーズも多様化・高度化していく中、両社はそれぞれのブランド、自立性を維持しつつ、良質なコンテンツを継続的に提供していくとともに、経営統合によるグループへの相乗効果をはかることにより、企業価値の向上を目指してまいります。

2. 株式会社スパイクの概要

- (1) 商号 株式会社スパイク
(2) 代表者 代表取締役 CEO 沢田喜代則
代表取締役 COO 櫻井光俊
(3) 所在地 東京都渋谷区
(4) 設立年月日 平成17年11月1日
(5) 主な事業の内容 ゲームコンテンツの制作・販売事業、ラリーDVD制作・販売事業等
(6) 決算期 3月
(7) 従業員数 53名
(8) 資本の額 10,000千円
(9) 発行済株式数 200株
(10) 株主構成および所有割合 株式会社スパイク 100%
(11) 最近事業年度における業績の動向

(注) 同社は、平成17年11月1日を会社分割期日として、株式会社スパイク(株式会社スパイクに商号変更)のゲームコンテンツの制作・販売事業およびラリーDVD制作・販売事業等に属する営業を会社分割、承継した新設会社であり、平成18年3月期が設立初年度となります。なお、分割譲渡された当該事業の過去3年間における売上高は下記のとおりです。

平成15年3月期	平成16年3月期	平成17年3月期
2,921百万円	2,078百万円	2,299百万円

平成17年3月期における経常利益は151百万円、総資産は426百万円であります。

なお、当社との資本関係、人的関係はありません。

3. 株式の取得先

- (1) 商号 株式会社スパイク
(2) 所在地 東京都新宿区
(3) 主な事業の内容 インターネット関連事業、モバイルコンテンツサービス事業等
(4) 当社との関係 該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

- (1) 異動前の所有株式数 0株 (所有割合 0.0%)
(2) 取得株式数 160株 (取得価額 1,024百万円)
(3) 異動後の所有株式数 160株 (所有割合 80.0%)

5. 日程

- 平成17年11月14日 株式譲渡契約承認取締役会
平成17年11月14日 株式譲渡契約締結
平成17年11月16日(予定) 株式譲渡日

6. 今後の業績に与える影響

今後の当社連結業績に与える影響につきましては、「1. 株式取得の理由」にてご説明したスパイクおよびチュンソフトが予定している当社グループ内のゲーム事業再編に向けた中間共同持株会社の設立に関する事項が確定したのち、その影響が明確になり次第、速やかに開示する予定であります。

以上